



工藤しゅうじ市議 子育てでも奮戦中

今年4月の市議選で3期目を目指す工藤しゅうじ市議は、夫人と小5の娘さんを筆頭に1歳の男の子まで4人のお子さんを育てている。その喜びと苦労が市議の仕事にも反映されている。工藤さんにインタビュー。

子育て経験を市政に活かす

子ども4人(現在のところ)は今のが国では多い方だがなぜ?本人も夫人も3人兄弟姉妹で育った。それで自然に4人に。特に理由はないとの答え。

子育ての楽しみは、子どもの成長だと言う。「パパ、ママ」の言葉を覚える、おむつが取れる、友達をたくさん家に連れてくる、勉強をよくし、いい成績を取ってくる。学校で、パパのいいところは何か?の問いに、「パパの皿洗いを見習いたい」と答えたと目を細める。一方、大変な点は、散らかす、いうこと聞かないなどとともに、お金がかかる話。給食費1万円、スイミング、サッカー、1万、着るもの、靴は大人並みの値段等々、頭を抱える。

ここから政治や市政に望むことは、地域で子育て・家事を支援してくれる人が欲しい。そして子育てにお金がかからない制度を作ってほしいとのこと。

工藤さんの生い立ちとは?

平成元年、三郷市に生まれ、地元の小中学に通う。スーパーファミコン、ミニ四駆、ポケモンカードに夢中になる。スポーツは得意な方で、市の陸上大会はリレーアンカーで優勝。小学では少年野球をやっていたが、中学で部活はバスケット部。部長。ケンカが強いので向いていると思っただが、いい成績は収められなかった。中学ではちよつとヤンチャもした。2年の担任の先生が「お前の面倒はオレが見る」と言った。3年もその先生が担任になった。趣味は釣りと釣り。

3期目を指して

現在地域では、消防の大相模分団に所属。直接、地域住民の安全を守っている。大相模小「いちようの会」会長。

在職2期で強く感じたことは人間関係の大切さ。市の部長らとよく話す。同様、他党派議員、市民とのコミュニケーションも大切に。3期目への決意は保育所・病院・学校・学童などの人手不足の解消、働く環境の

改善を挙げる。

最後に特に言いたいことは?の問いに「がんばる!」と答えてにっこり笑った。(文責||編集部)

工藤しゅうじの市議会報告

12月議会一般質問

- ◆市民を守る新型コロナウイルス対策について
- ① あらゆる施設への集中的検査の実施について
- ② ひっ迫する救急体制の強化について

◆東武スカイツリーライン市内各駅のトイレ洋式化について

4月は県議選、市議選

県議は **ばばひろし** とお書き
市議は **工藤しゅうじ** ください。



ばばひろし(馬場浩)氏
1957年長崎県生
市内経理事務所勤務